

☆探鳥会 ここが見どころ聞きどころ☆

赤水公園探鳥会

谷口秀樹

【日 時】10月12日（日）10:00～12:00

【集合場所】長崎市琴海戸根原町 現地駐車場

【リーダー】谷口秀樹（携帯 090-5295-1931）

(Email: qqbz7rrd@chorus.ocn.ne.jp)

事前申し込みが必要です。

9月中旬のアカハラダカに始まり、下旬のハチクマとタカの渡りが続いています。そして10月中旬は、サシバです。本種は、日本及び中国東北部で繁殖し、秋にインドネシアなどに渡り越冬します。本県でも、本土では繁殖記録がありますが、あまり多くはありません。

さて、日本各地で繁殖したサシバは、秋になると徐々に移動を開始します。そして、各地の岬や岬などで大きな群れが見られています。それは、かなり昔から知られていたようで、愛知県の伊良湖岬、鹿児島県の佐多岬、宮古島などが有名です。松尾芭蕉が詠んだ「鷹一つ見つけてうれし伊良湖崎」という句があります。冬に伊良湖岬を訪れたときに詠んだ句と言うことなので、ここで読んだ鷹はサシバではないようです。秋に、訪れていたらどんな句を詠んだのでしょうか。近年、長野県の白樺岬、宮崎県の金御岳なども有名になってきました。

サシバは、本州西部や四国を西に進み、九州の大分や宮崎に届くと南に転進し鹿児島県の佐多岬から海に飛び出すようです。

したがって、主なルートから外れてしまう長崎県では、大きな群れに出会うことはありません。それでも、10月中旬になるとそれなりの数が南を目指し移動しています。アカハラダカの観察が終了後の鳥帽子岳では、その後も有志により観察が続けられ、サシバやハイタカなどの飛来状況が明らかになっています。このサシバたちは、大陸



（サシバ 谷口陽香）

で繁殖したものの一部でしょうか。その後、鹿児島県西部の金峰山でも群れが見られるそうなので、アカハラダカと同じようなルートで、南を目指しているのかもしれませんが。開聞岳辺りから海に飛び出すのでしょうか。

当地で、サシバの渡りに会えるかは、かなり運次第ですが、アカハラダカとは又違う渡りの様子を長崎でも楽しめたらと思います。10月とはいえ、まだまだ暑いので熱中症対策を忘れずにして、当地を訪れてください。